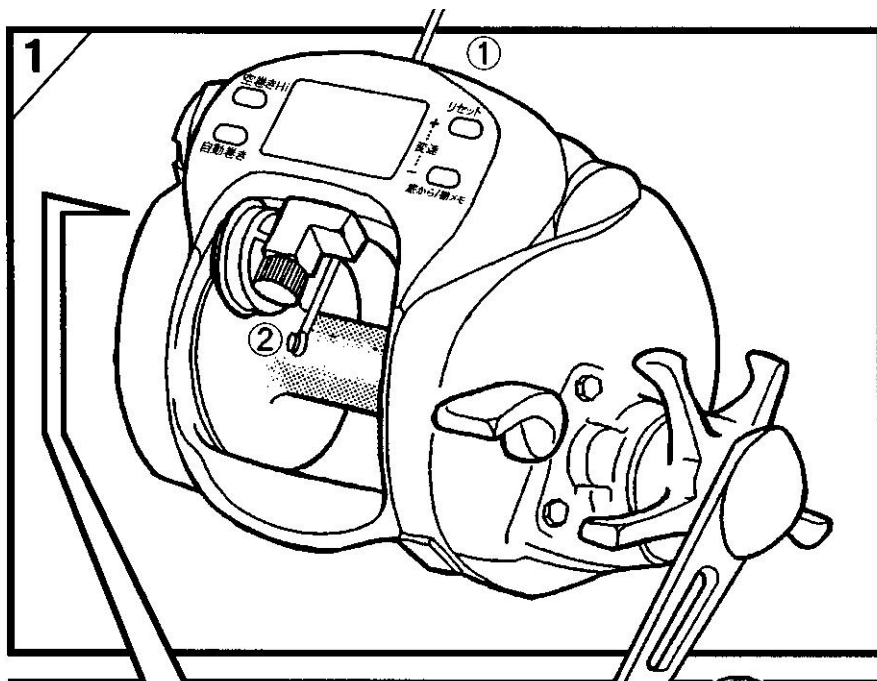


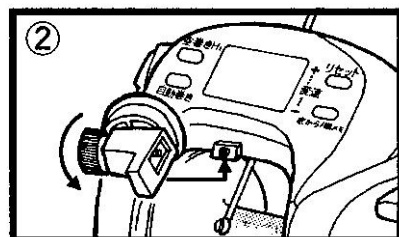
# スケール入力



道糸をレベルウィンドに通してスプールに結んでください。

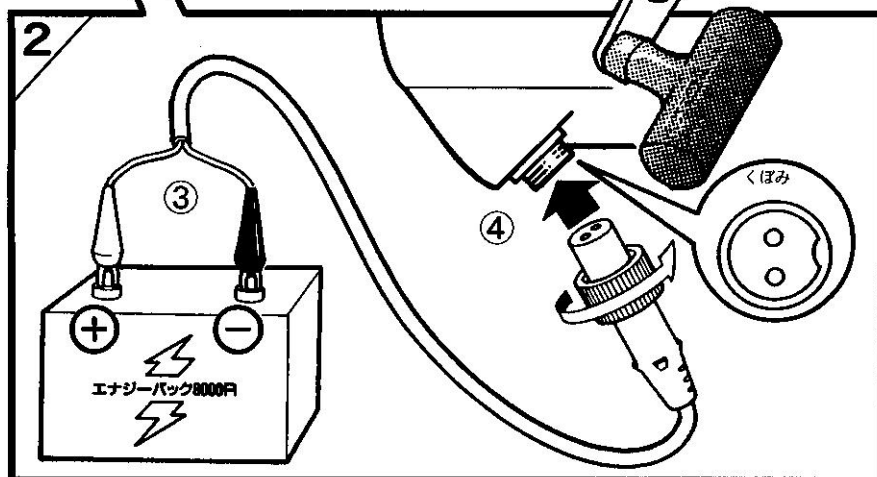
- 1 付属の糸通しピンを使うとかんたんに通せます。
- 2 スプール面での糸滑り防止のため、必ず糸止めピンに糸を結んでください。

図のように「速攻スケール」をリール本体に取り付けます。



ワニグチクリップを電源 (DC12V) につなぎます。

赤キャップ プラス (+)  
黒キャップ マイナス (-)

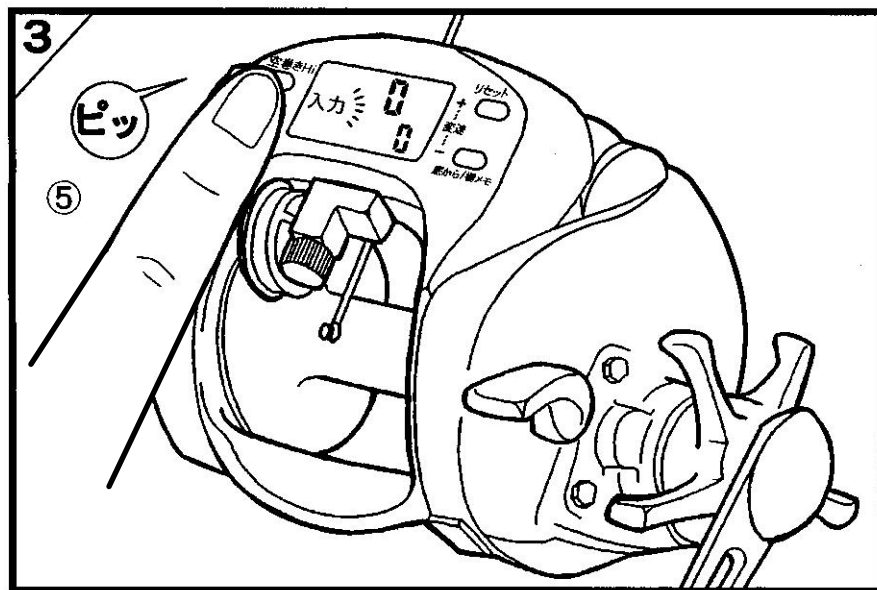


コードコネクターをリール本体に取り付けます。

コネクターは+-逆接防止のため図のような形状(くぼみ)になっております。ご注意ください。



自動的に入力モードになります。



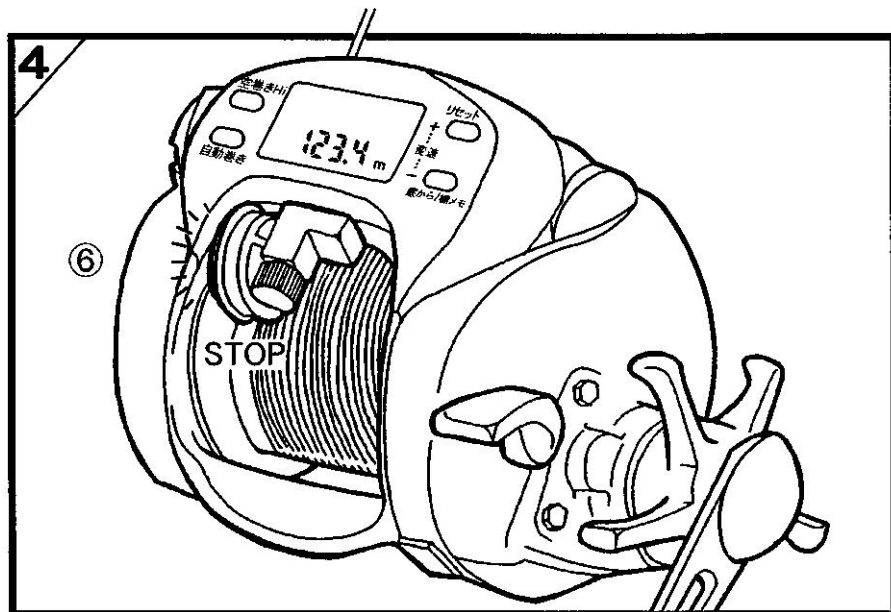
空巻きHi スイッチを押して、道糸を巻きます。



パネル右の数字が、4~5になるようにテンションを調整して巻いてください。

フィンガーガードに糸が当たるとリールが傷つくことがあります。糸が当たらないようご注意ください。

最初に道糸を巻くときや、巻きかえるときは以下の操作を行ってください。  
マイコンに道糸のデータが入力されカウンターが正常に働きます。



「速攻スケール」に道糸が当たるまで巻いてください。

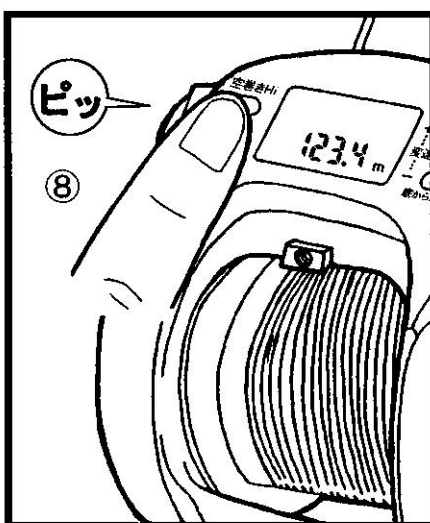
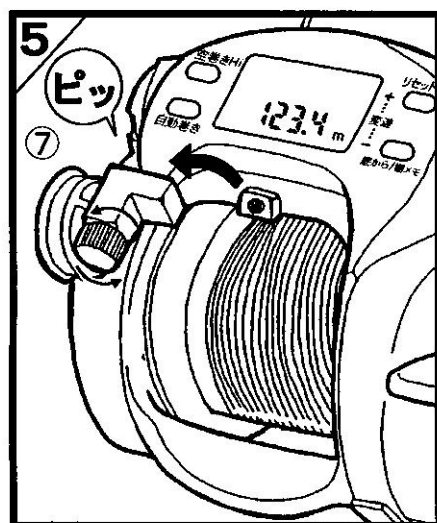
スケールに当たると、ローラーが回り自動的に停止し、表示が変換します。

【ご注意】 スケールに当たるまでの巻糸量は、

「柵センサーブライト」で

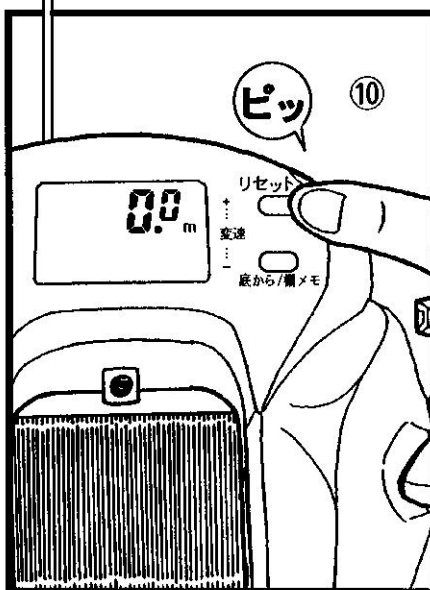
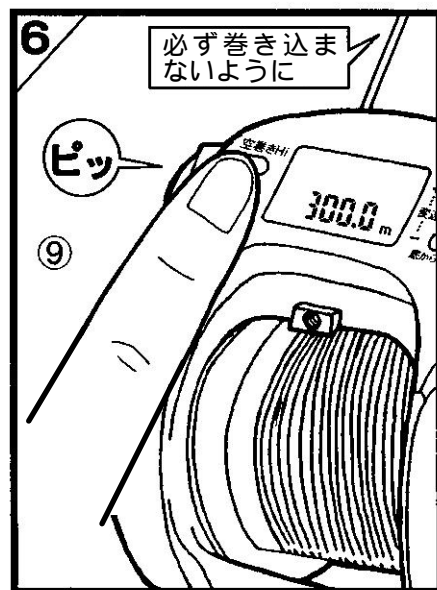
500サイズ		600サイズ	
4号	270m程度	5号	300m程度
5号	210m程度	6号	250m程度
6号	160m程度	8号	190m程度
8号	120m程度	10号	140m程度

テンションによって多少前後することがあります。



スケールを外してください。

再度、(空巻きHi)スイッチを押して、残りの道糸を巻いてください。



巻き終わったら、(空巻きHi)スイッチを押して巻き上げを終了させてください。

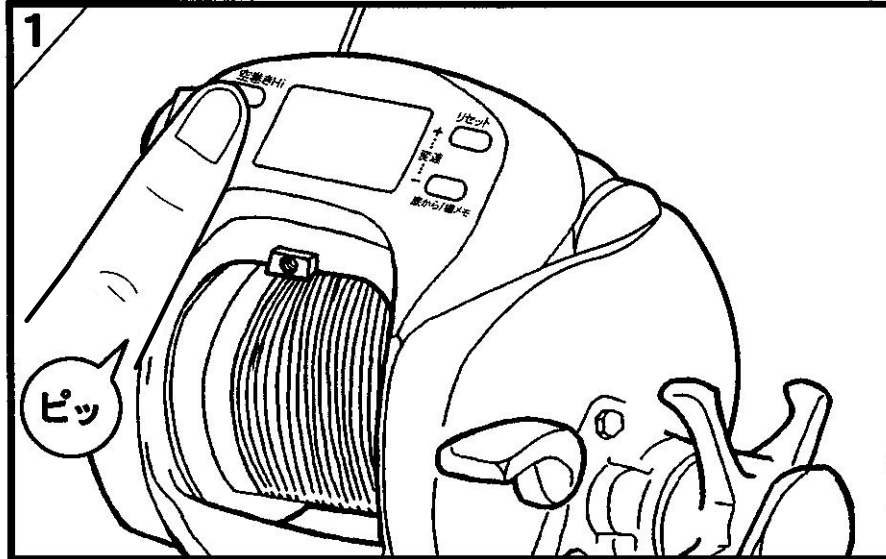
【ご注意】

糸を全部巻き込まないようにしてください。手前で(空巻きHi)スイッチを押して、残りの糸をハンドルで巻いてください。巻き込みますとカウンター誤差の原因にもなります。

最後に(リセット)スイッチを2秒以上、表示が(0.0m)になるまで押してください。  
(完了)

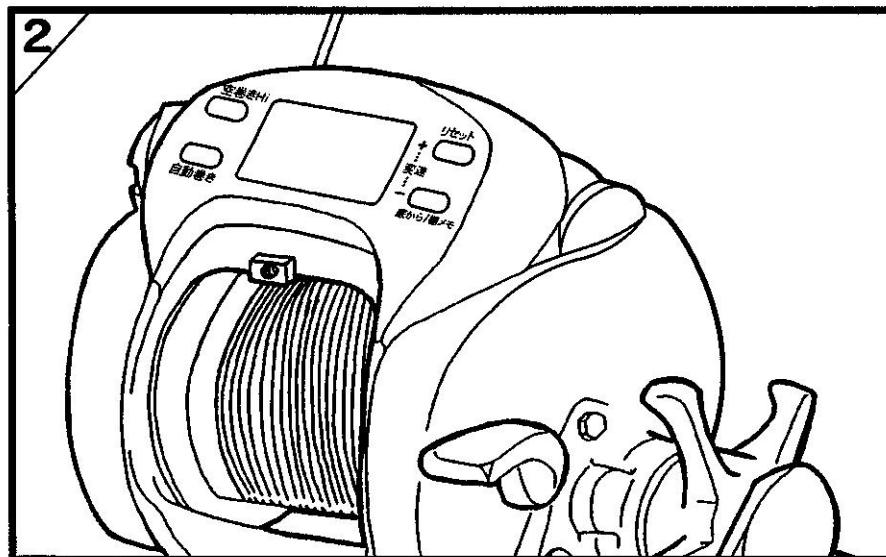
## 下巻き入力もできます。

(ただし、長さのわかる道糸が100m以上必要です。)



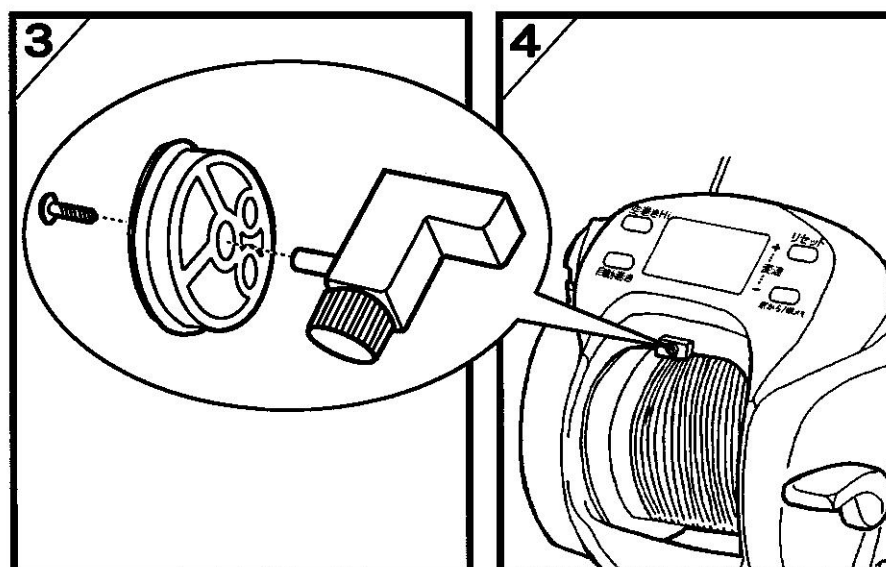
通电させ、**空巻きHi**スイッチを押して、下巻き糸を適量まで巻いてください。

スプール面での糸滑り防止のため、必ず糸止めピンに糸を結んでください。フィンガーガードに糸が当たるとリールが傷つくことがあります。糸が当たらないようご注意ください。



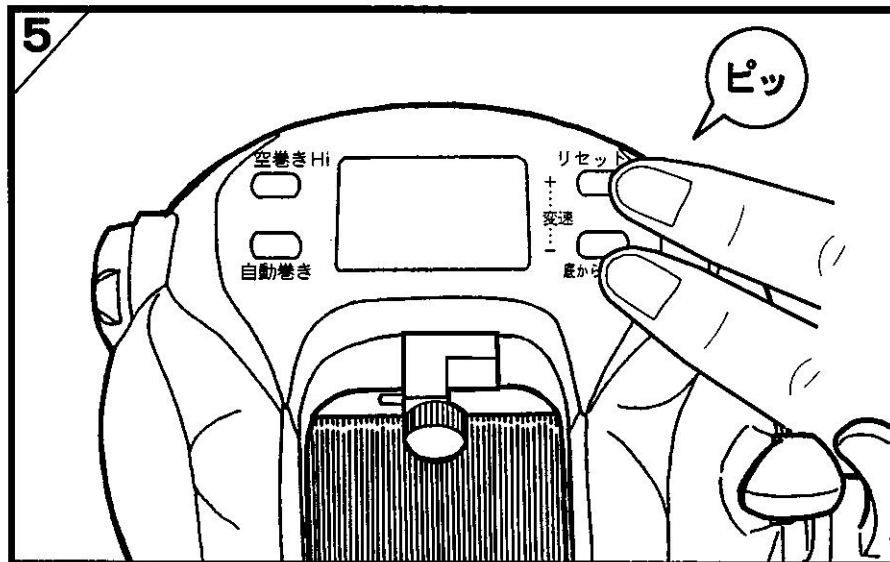
道糸と下巻き糸を結び、道糸の糸色を見ながら残り100mまで巻き取ります。

(ただし、用意した道糸量が100mの場合すぐからへ)

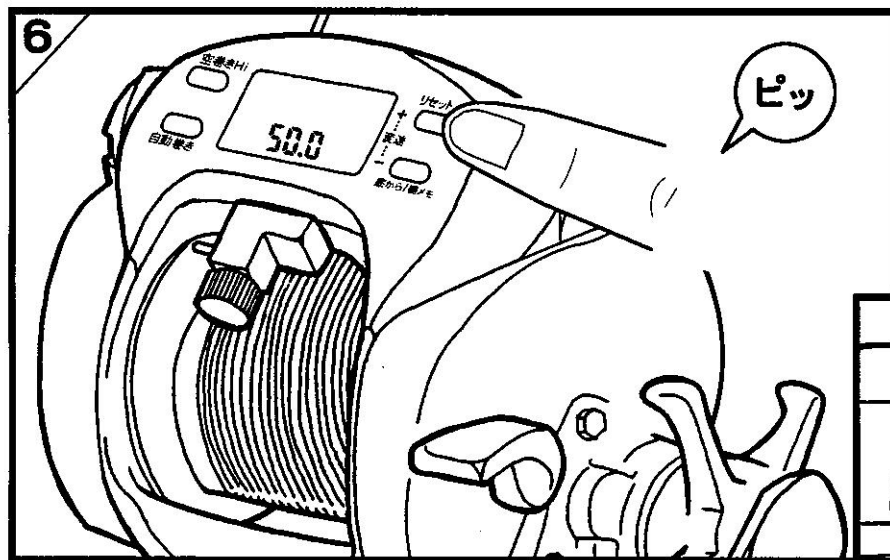


ネジをゆるめて、「速攻スケール」からローラーを取り外します。

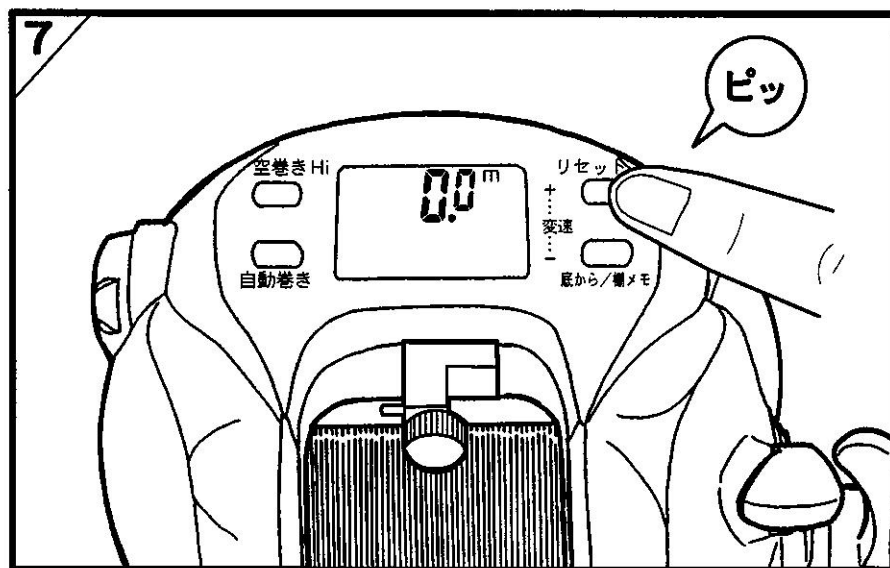
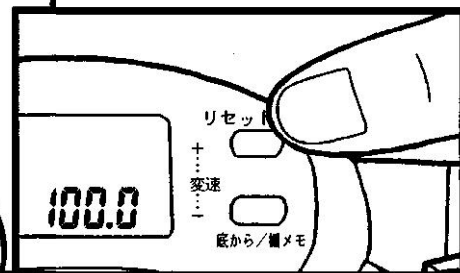
ローラーを取り外した「速攻スケール」を本体に取り付けてください。



**リセット** スイッチおよび**底から / 棚メモ** スイッチを同時に3秒以上押すと下巻き入力モードになります。



道糸の糸色に注意しながら50m巻き取り、**リセット** スイッチを2秒以上押してください。  
(下の数字が **50** **100** に変わります。)



同様に残りの50mを巻き、**リセット** スイッチを2秒以上押してください。(表示が **0.0m** になります。)  
これで完了です。

スケールを外してください。